

国鉄採用者の駅異動から運輸区への復帰は「本人の適性、能力、希望を勘案して」と言うなら運輸区での経験も長く能力もあり希望している。復帰を直ちに行うこと！

名古屋地本は9月9日、申1号「第24回地本大会発言と職場改善要求について」業務委員会を開催しました。

申し入れ内容と会社回答

1. 美濃太田運輸区では毎行路、乗務員報告書の提出が求められているが、乗務報告書作成は管理者から作成する事象に対しての具体的な指示を行うこと。

回答：乗務報告書は発生した事象を客観的、多面的に事実確認する上で必要なものであるため、速やかに作成し、報告する事が必要であり現行の取扱とする。

2. 車掌の要員問題を解決すること。

回答：必要な要員は配置している。

3. 60歳以降の乗務員に対しては、他職への異動やワークシェアリング、高齢者交番（3行路周りの交番作成）など選択肢を広げること。

回答：その様な考えはない。

4. 国鉄採用者の駅異動からの運輸区への復帰を行うこと。

回答：JR採用者と同様に人事異動については業務上の必要性に基づき各人の適性、能力及び希望を勘案しながら行う。

5. 個人を狙い撃ちにした集中添乗が行われている。添乗での指摘事項が非違行為になっている。ボーナスカットを目的とした添乗はやめること。

回答：必要な指導は実施する。

6. 課員の私服添乗、管理者による裏面添乗を止めること。

回答：必要な指導は実施する。

7. 開襟シャツの貸与を行うこと。

回答：回答保留。

8. 快速みえ号の減車はサービスの低下に繋がるので減車しないこと。

回答：車両運用やお客様のご利用状況等、総合的に判断し、編成両数を決定している。

9. 在来線のホーム稼働柵導入に向けて組合との議論を行うこと。

回答：ホーム稼働柵は現時点では設置する考えはない。

**10. 組合情報、掲示物に対する撤去を求めないこと。**

回答：協約に則り対応する。

**11. EDSの強要をしないこと。**

回答：必要な教育は実施する。

**12. 乗務カバンに入りきらないくらいの持ち物を持たせないこと。また、カバンと中身の軽量化を行うこと。**

回答：その様な考えはない。

## 主なやり取り

### 必要な乗務報告を明確にし超勤扱いにすること。

組合：美濃太田運輸区では乗務報告書の強要が行われている。会社はどのような事象が発生したときに報告書の提出を求めているのか。

会社：特段の決めはない。お客様からのお褒めなどでもよい。

組合：列車が遅れた場合やトラブルがあったなど具体的に業務に何らかの支障が出た場合だけで良いのでないか。なんでも良いから報告せよというのは問題である。

会社：美濃太田の場合は8月に終わっている。報告隠しがあったので報告の習慣化することで行った。

組合：乗務員は報告することで、些細な事で色々言われるから書きたくない。

会社：理解はできるが、報告しないと後々問題になる。

組合：乗務報告書はどの時間で作成するのか。

会社：準備報告時間や乗継ぎ後の労外までの時間に作成してもらえばいい。

組合：終了時の準備報告時間はほとんど時間がないではないか。

会社：書き切れなければ、管理者にその旨を伝え超勤で作成してもらう。

組合：毎回乗務報告書を提出することは、超勤になるか、労外に作成して提出する場合がほとんどになる。掲示一枚で超勤指示を出すことにつながり異常である。このような対策は早急にやめること。

### 年休の発給は年間ではなく、申し込み月の年休が出るようにするべきである。

組合：名古屋運輸区の要員不足は改善した言うが他の運輸区はどうなっているのか。

会社：全て足りているわけではないが昨年と比べると改善している。

組合：大垣運輸区の実態は把握しているのか。どれだけ発給されているのか具体的な数字を示して貰わないと納得できない。

会社：計画通りに進み改善されている。

組合：組合員は8月に3日申し込んでゼロ。9月に3日申し込んでゼロ。大垣運輸区で年休が出ているのは長期休暇と冠婚葬祭の申し込みだけとなっている。それ以外の申込は出ていない。これは改善されているとは言えない。

会社：年間で見ると概ね発給されている。

組合：年間の発給数を求めているのではない。申し込んだ月の発給を求めているのである。

**5年が過ぎたら本人の希望通りにすること。**

組合：駅異動は5年との話しで協力してきた。運輸区へ戻りたいと希望している組合員は早急に戻すべきである。

会社：駅に移動したい組合員は駅長に頑張ると言っているし、一生懸命やって貰っている。

組合：それは、仕事として一生懸命やる。5年の約束があるからである。会社も適性、希望等を勘案すると答えているではないか。

会社：経験もあり駅での指導的な役割もやって貰っている。

組合：本人は駅より運輸区の方が経験も長いし、知識もあり指導するにも適任であるにもかかわらず戻さないのは嫌がらせである。

**みえ号、伊勢市駅での長時間停車と分割、併合は何の為か？**

組合：みえ号の減車を考えているのか。

会社：未定である。

組合：伊勢市駅で何もしない長時間停車が行われている。お客様への迷惑を掛けサービス低下となっている。何もしないのなぜ止めるのか。何の為か。

会社：様々な事を勘案して行っている。

組合：お客様に何の為に停車しているのか説明出来ない。

**ホームから転落するお客様は減っていない。柵を設置すること。**

組合：岐阜駅と金山駅は管理者がホームに出ているが、いつまで続くのか。柵の設置は考えないのか。

会社：なにもしていない訳ではない。内包線の点字ブロックを進めている。

組合：目の不自由な方には良いかもしれないが、そうではない旅客がホームから転落していることから、柵の設置が必要である。

会社：そうはいつでもホームを拓げることにはなかなか出来ない。

組合：新幹線ホームの様な設備でなくても簡単に設置できる柵が他の鉄道会社でも実施されている。参考してJRでも設置すべきである。

会社：現時点では考えていない。

組合：列車のドア関係で事象が増加していると言われている。事があるたびに現場では対策など大変である。事象の増加を止めるためにハード面での対策を行い会社も努力しているという姿勢を見せるべきだ。

**組合掲示物の撤去は不当労働行為である。**

組合：組合情報の撤去を求めことは、これまで裁判において不当労働行為として認定されていることから、不当労働行為である。今後は撤去通告を行わないこと。

会社：会社は協約に則り行っている。

組合：裁判所はその様な協約があっても不当労働行為であると認定している。

乗務カバンの中身が増えるばかりで大変である整理、スリム化を図るべきである。

組合：規程、取扱の変更など追加書類と持ち物が増えるばかりで、カバンに入らなくなっている。

会社：このままで良いとは思っていない。

組合：様々な対策により手袋、ビニールシート、ビニールテープなど入りきれないほどのものを渡される。会社は何を携帯させているか把握しているか。

会社：把握している。

組合：さらにワンマングッズが加わると鞆のふたが閉まらない場合もある。この重い鞆にサブバックを持ちふらふらと歩かせて、何が立ち姿だ。スマートに歩けるように考えるべきである。

会社：必要な物との精査はする。

組合：重いカバンで女性社員も大変である。電車におけるもの電車に備え付けるなど改善に努力すること。

以上